

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2024年度	開講キャンパス	宮崎キャンパス	開設学科	管理栄養学科				
科目名称	基礎栄養学				授業形態	講義			
科目コード	301400	単位数	2単位	配当学年	2	実務経験教員		アクティブ ラーニング	○
担当教員名	川北 久美子							ICT活 用	○
授業概要	<p>からだと栄養Ⅰ・Ⅱで学んだ知識をもとに、三大栄養素が体内で利用される機構や関与する酵素や補酵素とビタミン、ミネラルなどの微量元素の役割について学ぶ。またヒトの体で最も多い成分である水分が体内で果たす役割や電解質の役割、遺伝子発現と栄養の関わりについても学ぶ。</p>								
関連する科目	<p>事前からからだと栄養、からだと疾病を受講し、同時期に生化学を受講することが望ましい。履修後は臨床医学、応用栄養学、臨床栄養学を受講し理解を深め、応用力をつけることが望ましい。</p>								
授業の進め方 と方法	<p>書きこみ式のプリント教材を配布する。教科書や配布プリント教材で事前に自学自習を行う。授業でわからなかった点は、教員に質問し、質疑応答しながら完成させ、理解を深める。次回復習テストまでに知識を整理する。復習テスト後は教員から解答を全員に提示し、ポイントの補足説明などを行う。各自疑問点などを確認する。また項目ごとに関連する国家試験問題を提示し、授業内容とリンクさせ、学んだことがどのように出題されるかを説明する。</p> <p>栄養学の歴史ではあらかじめテーマを与え、配布した資料などを基に調べ学習をして、グループで発表を行う。また必要なことを覚えたかを課題で確認する。</p>								
授業計画 【第1回】	<p>栄養学の歴史 与えられたテーマについて配布した資料などを基にグループでディスカッションをし、プレゼンを通して栄養学の歴史について理解を深める。</p>								
授業計画 【第2回】	<p>タンパク質の栄養① タンパク質の体内代謝について学ぶ。</p>								
授業計画 【第3回】	<p>タンパク質の栄養② アミノ酸の代謝について学ぶ。</p>								
授業計画 【第4回】	<p>糖質の栄養① 糖質の体内代謝について学ぶ。</p>								
授業計画 【第5回】	<p>糖質の栄養② 血糖とその調節、食物繊維・難消化性糖質の生理効果について学ぶ。</p>								
授業計画 【第6回】	<p>脂質の栄養① 脂質の体内代謝について学ぶ。</p>								
授業計画 【第7回】	<p>脂質の栄養② コレステロールの代謝と摂取する脂質の量と質の評価について学ぶ。</p>								
授業計画 【第8回】	<p>ビタミンの栄養① 水溶性ビタミンの代謝と栄養学的機能について学ぶ。</p>								
授業計画 【第9回】	<p>ビタミンの栄養② 脂溶性ビタミンの代謝と栄養学的機能について学ぶ。</p>								
授業計画 【第10回】	<p>ミネラルの栄養① 多量ミネラルの代謝と栄養学的機能について学ぶ。</p>								

授業計画 【第11回】	ミネラルの栄養② 微量ミネラルの代謝と栄養学的機能について学ぶ。
授業計画 【第12回】	水の栄養学的意義 体内の水の分布と出納、体液の調節機構とその異常について学ぶ。
授業計画 【第13回】	電解質の栄養学的意義 体内の電解質の役割と体液の酸塩基平衡のメカニズムやその異常について学ぶ。
授業計画 【第14回】	エネルギー代謝 エネルギー代謝の概念やそれに影響を及ぼす諸要因、その測定法について学ぶ。
授業計画 【第15回】	遺伝子発現と栄養 遺伝子多型や栄養素に対する応答の個人差、生活習慣病発症との関連について学ぶ。
授業の到達目標	1. 三大栄養素やエネルギー代謝、ビタミン、ミネラルの役割について理解し、説明できるようになること。【知識、理解の育成】 2. 人体で最も多い成分である水の体内における特性や機能について理解すること。【知識、理解の育成】 3. 栄養の人体におよぼす影響や疾病発症への関連、遺伝子多型と生活習慣病発症との関連を理解し、将来栄養の専門職としてその知識を応用し活用できる。また継続的な学びにつなげることができる。【生涯学習力の育成】
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1) / 2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1) / 3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(4)
授業時間外学習【予習】	次回授業内容について教科書や配布プリント教材を読んで内容を把握しておくこと。予習課題を事前に与えるので、各自Formにアクセスして回答すること。(約1時間)
授業時間外学習【復習】	ほぼ毎回授業の最初に前回授業内容にかかる復習テストを実施するので復習しておくこと。(1時間程度)
課題に対する フィードバック	配布プリント教材の解答はユニバ上にアップロードするので、書き漏らしや書き間違いを追加訂正しておくこと。 復習テストについては毎回答え合わせをする。回収後チェックして返却する。 定期試験について試験前後で必要事項の解説および質疑応答をする。試験に対する質問には個別でも対応する。
評価方法・基準	復習テスト(10点)、定期試験(90点)
テキスト	栄養科学イラストレイテッド 基礎栄養学 第4版 田地陽一 編 (羊土社) 生化学・基礎栄養学 第3版 編者 池田彩子他 (朝倉書店)
参考書	基礎栄養学 改訂 第6版 柴田克己、合田敏尚 編集 (南江堂) 栄養士・管理栄養士のためのなぜ? どうして? 基礎栄養学 (MEDIC MEDIA) 必要に応じて資料も配布する。
備考	